

【演習の目的】

各種事態における日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、共同統合運用能力の維持・向上を図る。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和60年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は指揮所演習であり、今回で26回目の実施となります。

【演習参加部隊・実施場所】

統合幕僚監部、陸上総隊司令部、西部方面総監部、自衛艦隊司令部、航空総隊司令部、航空集団司令部、統合作戦司令部等が、それぞれ所在する場所において、指揮所演習を実施

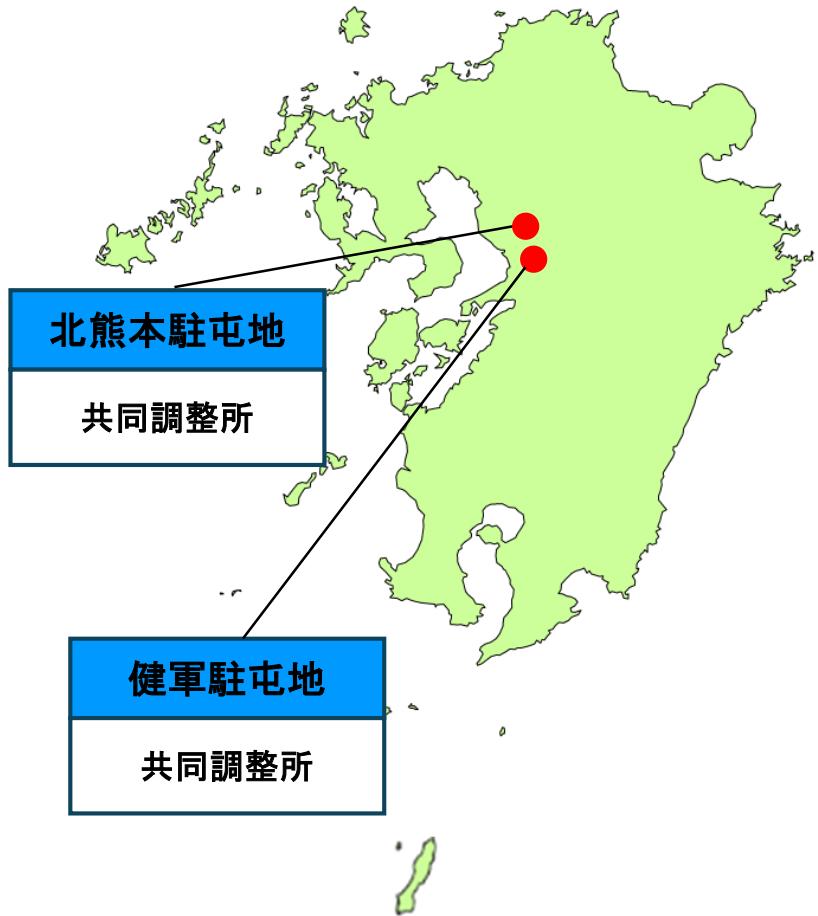
【演習の実施期間】

令和8年1月29日(木)～2月5日(木)

※ 本期間の前後に、それぞれ約1週間で展開・撤収を実施予定

【演習の内容】

- 防衛省市ヶ谷地区及び演習参加部隊等の所在地における指揮幕僚活動及び日米の相互連携
- 朝霞駐屯地(東京都・埼玉県)、健軍駐屯地・北熊本駐屯地(熊本県)、キャンプ瑞慶覧・牧港補給地区(沖縄県)に共同調整所をそれぞれ設置し、自衛隊と米軍との間の相互運用性の向上を図ります。



訓練目的	健軍駐屯地及び北熊本駐屯地において共同調整所を設置し、日米間の相互運用性の向上を図る。	
期間	令和8年1月29日～2月5日 ※ 本期間の前後に、それぞれ約1週間で展開・撤収を実施予定	
訓練実施場所	健軍駐屯地及び北熊本駐屯地(2-4-bによる限定使用予定)	
参加規模	陸自	(健軍駐屯地) 西部方面総監部 等 規模：約900名 (北熊本駐屯地) 第8師団司令部 等 規模：約150名
	米軍	(健軍駐屯地) 第3海兵機動展開部隊 等 規模：約120名 (北熊本駐屯地) 第12海兵沿岸連隊 等 規模：約150名
主要訓練項目	共同調整所における指揮幕僚活動	